

✧ 海外ニュース ✧

アメリカ 2019年3月1日 government technology

■ 大都市圏で高まる渋滞緩和のための技術、輸送の必要性

Growing Metros Need Tech, Transit to Reduce Congestion

交通渋滞に関する限り、ナッシュビル、テネシー州はボストンまたはロサンゼルスに比肩するような都市であるとは考えられないものの、通勤者がその影響を感じていないということではない。ある最新の報告書によると、その大都市圏は国内のもっとも混雑している都市トップ20にランク付けされており、そこで役員は技術および新たな交通の選択が、そうした圧力のある程度緩和する助けになるだろうと考えている。この190万人が暮らす中央大都市圏において、交通量分析会社 INRIX が発表した最新の交通渋滞レポートによると、交通渋滞は2017年から2018年までの間に20%急増した。実際のところ2018年、通勤者は交通渋滞の中で87時間を過ごした。さらに中心市街地の平均速度は、現在のところ約17マイル/hである。「確実ではないが、都市内の幹線道路は午後のラッシュ時により長時間渋滞するとみている」とメトロ・ナッシュビル企画部の複合輸送計画管理者マイケル・ブリッグス氏は述べた。

ドイツ 2019年3月6日 WELT

■ プロテスタント教会は、制限時速を130 km/hとする嘆願書を提出する

Evangelische Kirche reicht Petition für Tempolimit 130 ein

プロテスタント教会は、アウトバーン上での一般的な制限時速を130 km/hとする嘆願を開始した。しかし教会は交通安全のみを考慮しているわけではない。中部ドイツ福音主義教会（EKM）は水曜日に連邦議会において、アウトバーン上での一般的な制限時速を130 km/hとする公式な嘆願書をまとめた。これにより教会は、この問題に対し、広範囲にわたる社会的な議論が起こることを望んでいると、EKM（中部ドイツ福音主義教会）の教会責任者であるクリスチアン・フルマン氏は述べた。

ドイツ 2019年3月7日 Verkehrs Rundschau

■ ケルン近郊のA1号では今週末に完全な通行止めが行われる

A1 BEI KÖLN AM KOMMENDEN WOCHENENDE KOMPLETT GESPERRT

金曜夕方から月曜朝にかけての通行禁止は、NRW（ノルトライン＝ヴェストファーレン）州道路局によると、ケルン北のジャンクションにおける橋の一部が損傷していることが原因である。道路利用者は週末、ケルン近郊のA1号において迂回路を使用しなければならない。ケルン北ジャンクションにおける工事により、この交通量の多いアウトバーンは「金曜夜22時から月曜朝5時まで完全に通行禁止となる」と、木曜日にNRW州道路局が明らかにした。ドルトムント方面では、ケルン西ジャンクションからの区間が混雑し、A4号を使用した迂回が可能となるという。さらにNRW州道路局は、コブレンツ方面への反対方向走行者に対し、レーバークーゼンジャンクションでA3号への迂回を勧めている。

フィリピン 2019年3月7日 BusinessMirror

■ TRBがNlex社による通行料調整要求を承認

TRB okays Nlex request for toll-rate adjustments

これからの4年間での実行予定とされている値上げとともに、政府は部分的ではあるが、未決定となっていた通行料の見直しに対するNlex社による2つの請願をついに承認した。証券取引所への公開に基づき、有料道路規制委員会（TRB）は2013年および2015年に対する同社による2件の通行料引き上げ申請のうち、半分の実

施を認可した。これにより当該の高速道路運営事業者は、北ルソン高速道路では定額制で10ペソ追加、また対距離制で1kmにつき0.18ペソの通行料金の徴収を始めることができる。「これは値上げ論争の決着における前向きな一歩である。政府と結んだ合意によって、これからの4年間で2つの申請のうちの50%保留実施が要求される」と、Nlex社の上席副社長ロモロ・S・キンボ氏は電話インタビューで述べた。Nlex社に対する料金の見直し申請は、現在のところ通行料規制機関に先立ち数年間保留になっている。これにより、2018年半ば時点で約60億ペソに上る収入が得られた。当該のNlex社による利権協定は、2年おきの値上げを認めるものである。

ドイツ 2019年3月8日 Verkehrs Rundschau

■ 緊急車線の使用：23,000ユーロの罰金

KEINE RETTUNGSGASSE : BUSSGELDER IN HÖHE VON 23.000 EURO

ブルッフザール近郊のアウトバーンA5号における重大事故の後、警察は高額な罰金を科することになった。これは、運転者が緊急車両用車線の確保を怠ったためである。1台のトラックが渋滞の最後尾で他の重量のある車両に衝突した重大事故により、ブルッフザール近郊のアウトバーンA5号の両車線には長い渋滞ができた。アウトバーンは部分的に完全に通行止めになったと、カールスルーエ警察が明らかにした。

フランス 2019年3月8日 SANEF

■ 誰もが避難ゾーンと緊急用電話機が利用できるようになる！

L'accessibilité pour tous aux refuges et Postes d'Appel d'Urgence !

SanefはA1号では127カ所、A26号では59カ所において整備計画を推進している。2019年の特別プログラムである。Sanefは2019年11月まで、A1号およびA26号の180カ所以上において、身体障害者を含むすべてのドライバーが避難ゾーンと緊急電話機を使用できるようにするための整備工事を行う予定である。具体的には、A26号ではSt-Quentinの接続分岐路No11とReims-centre-Tinqueux No16.1の間、A1号ではRoissy No6とHénin-Beaumont No16の間である。これらの区間では、作業員が安全に工事を実施できるように、通行が制限される。

フランス 2019年3月12日 Le Figaro

■ 通勤のための移動：モビリティに関する法律により問題が解決される

Trajets domicile-travail : la loi sur les mobilités veut apporter des solutions

通勤のための移動は、今後、数年間における重大な経済的および環境的な課題である。環境に関する制約を踏まえた上で、この交通費をどのように削減できるのだろうか？モビリティに関する法案がその解決法を示すだろう。この国民議会で討議されるテーマは、非常にセンシティブである。ガソリンとディーゼル油の課税率の引き上げが「黄色ベスト」の反乱を引き起したことを考えていただきたい。しかし、Élisabeth Borne運輸大臣が提出したモビリティに関する枠組み法は、この複雑な方程式に満足すべき回答を示すものと考えられる。この法律は、環境に関するコミットメントを遵守しつつ、数百万人に上るドライバーたちの交通費を軽減するためのモビリティ計画を見直すとのものである。

インドネシア 2019年3月12日 TEMPO.CO

■ 13の有料道路で料金引き上げの見込み

Fares in 13 Toll Roads Will Increase

有料道路利用者は今年、料金により多くのお金を使う準備をしておかなければならない。Bisnis.comの日曜日の報道によると、少なくとも13の有料道路が今年料金の見直しを行う予定である。最後に有料道路の料金引き上げが発表されたのは2017年後半だった。その年、料金の見直しは第4四半期に実施される可能性がある。有

料道路事業者（BUJT）は、2年おきに料金の見直しを提起する権利を有する。3つのBUJTの持株会社であるスサントラ・インフラストラクチャ社は、今年料金改定を行う可能性があるとした。同社の企業問題総括管理者であるデデン・ロッチマワティ氏によると、ポンドックアレン・スルボン間、ウジュン・パンダン第1および第2区間の他、マカッサル第4区間と3つの有料路線の通行料引き上げを要求している。

ドイツ 2019年3月15日 Verkehrs Rundschau

■ **ハンブルクは、ディーゼル車走行禁止措置を徹底的に検証する予定である**

HAMBURG WILL DIESEL-FAHRVERBOTE SORGFÄLTIG PRÜFEN

連邦議会のディーゼル車走行禁止決定を受け、ハンブルク市は、すでに決定された走行禁止を検証する予定である。しかし、これを短期的に終わらせるつもりはない。ハンブルク市民の反対派は市政府に対し、ハンブルクの2カ所の道路における旧式のディーゼル車に対する通り抜けの制限を、再び撤廃するよう圧力を強めている。連邦議会による、都市部における酸化窒素の数値制限および走行禁止の決定の後、ドイツキリスト教民主同盟（CDU）の一派は市政府に対し、シュトレゼマン通りおよびマックスブラウアー通りにおけるディーゼル車走行禁止の即時撤廃を要求している。

ドイツ 2019年3月21日 BMVI

■ **連邦大臣であるショイヤー氏は、連邦の新たなアウトバーン会社の執行部を紹介した**

Bundesminister Scheuer stellt Geschäftsführung der neuen Autobahn GmbH des Bundes vor

連邦交通大臣であるアンドレアス・ショイヤー氏は今日、連邦の新たなアウトバーン会社の執行部を紹介した。2019年3月1日以降職務に就くのは以下のとおりである：シュテファン・クレンツ運営責任者、アンネ・レーテマン財務責任者、ギュンター・アドラー人事責任者。経営本拠地はベルリンである。